

熊本県理学療法士(協)会  
代議員立候補者

定 数 : 9 名

立候補者数 : 8 名



氏名 坂崎 浩一

都道府県士会 熊本県

年齢 56

勤務先名称 熊本総合医療リハビリテーション学院



氏名 増田 安至

都道府県士会 熊本県

年齢 53

勤務先名称 (有)アドミニ

### 協会・士会役員歴

日本理学療法士協会  
 ・平成7年度～ 代議員  
 ・平成18年度～24年度 組織部長  
 ・平成25年度～27年度 組織率向上特別委員会委員  
 ・平成25年度～ 表彰委員会委員  
 ・平成29年度～ 災害支援システム検討委員会委員

熊本県理学療法士協会  
 ・平成2年度～5年度 理事(広報担当)  
 ・平成6年度～27年度 専務理事(兼 事務局長)  
 ・平成28年度～ 副会長

### 立候補の趣旨

日本理学療法士協会が組織され半世紀が過ぎ、諸先輩方のご尽力のもと、本会の社会的立場や評価は大きく高まって参りました。理学療法士にとっての目指す方向として望ましい具体的変化も進んでいます。

しかしながら、地域包括ケアシステムへの関わり等移り変わる医療保健福祉行政への対応、新たな方向性としての産業理学療法の展開など、求められる日本理学療法士協会から応えられる日本理学療法士協会、強いては創造する日本理学療法士協会へと転換の時期を迎えていることも事実です。

10万人を超える会員を抱く本会において、教育の質が学術の質を高め、高い学術の質と組織力が職能団体としての力を高めると思っています。裾野広がる会員構成の中で、個々の意識の高揚と更なる組織化が重要です。

地方の一会員ではありますが、永年の県事務局の経験を活かし、協会と連携を更に深め、円滑なる運営に少しでも貢献できればと思ひ立候補いたしました。よろしくお願ひいたします。

### 協会・士会役員歴

平成18年4月～現在 熊本県理学療法士協会理事  
 平成22年4月～現在 日本理学療法士協会代議員

### 立候補の趣旨

はじめに平成28年4月熊本地震で被災された皆様に心からお悔やみ申し上げます。一昨年、熊本県と大分県ではこれまで経験したことのない甚大な被害を受けました。この混乱を乗り越え立候補できるのは、全国の医療関係者による県境を越えた応援のおかげだと感謝申し上げます。医療職という同志的結合は、他のどの様な結びつきより強く不変のものである事を確信できました。あれから2年、お陰様で熊本も発展的復興を遂げています。

このような中、全国的にはかつて経験のない超高齢化社会に突入し社会的弱者は急激に増加、待たなしの状況下で地域包括ケアシステムの構築が急がれています。私は平成18(2006)年より熊本県理学療法士協会理事に就任し、平成22(2010)年から日本理学療法士協会代議員として活動しています。

熊本県理学療法士協会の会員数は、平成29年9月末時点で2,532名、施設数は647施設、新入会員178名で、熊本県内でも有数の専門職団体に成長しました。

理学療法士養成は、平成11年の規制緩和政策により養成校が急増し、急激な会員増加が続いております。それに伴い協会活動も範囲を拡大しており、社会的認知度も向上し、社会的責任も増大しています。組織の拡大は会員たちの意見集約にも時間がかかります。これからは一層明確な目標と実行する行動力が必要になりますし、会員相互の十分な意思の疎通が必要になります。

近年、1丁の発展は留まるどころを知らません。我々の仕事は「人」を相手にする「心」の必要な仕事です。私たちが後進に残していける事、それは治療技術とそのマインドであると考えます。自らの仕事に誇りを持ち、医療・保健・福祉のプロフェッショナルとして次世代に引き継いでいけるよう頑張りたいと思います。将来を担う若い理学療法士が職業選択として選ぶことができる医療環境を整備するためにも代議員として誠心誠意努力する所存です。会員の皆様のご支援をよろしくお願ひ申し上げます。



氏名 田島 徹朗

都道府県士会 熊本県

年齢 58

勤務先名称 九州中央リハビリテーション学院

### 協会・士会役員歴

平成21年～平成24年度 (社)日本理学療法士協会九州ブロック研修部協力スタッフ  
 平成22年～平成29年度 (社)(公社)日本理学療法士協会 代議員  
 昭和61年～昭和62年度 鹿児島県理学療法士協会 教育部副部長  
 平成06年～平成11年度 熊本県理学療法士協会 学術部長  
 平成12年～平成25年度 (社)(公社)熊本県理学療法士協会 理事  
 平成26年～平成29年度 (公社)熊本県理学療法士協会 副会長

### 立候補の趣旨

「少子高齢化」という言葉が、強い印象を持ち、将来に不安を抱える人々も多いのが現状です。そんななか理学療法士としての役割は？ または理学療法士として何ができるかと、自問自答することがあります。厳しい財政状況のなか、国・地方における社会保障費の増加は著しいものがありますが、介護・医療保険などの枠組みにより行動の制約や協力体制の不備、または資金不足により、活動の場がそがれていることも現状です。熊本県においても同様で、高齢化の加速は留まることはなく、理学療法士の充足も地域の隅々まで、充足しているとはいえません。また、国の政策においては、早急な地域包括ケアシステムの構築が急がれています。我々、理学療法士は、若い集団といわれながらも日々の探求により、多様化する現況にも、その力を発揮・提供できる知識・技術も十分に持つことができたと感じています。いまこそ、医療・介護連携、認知症対策、地域ケア会議、生活支援、介護予防など、積極的に参加協力し、総合的指導者として、その力を発揮するときだと考えています。以上のことを踏まえ、地方では、行政への働きかけと積極的な参加を通し、市町村との強い連携パイプを構築し、理学療法士の専門職としての力を示しつつ、福祉への貢献を担える集団に成長させることが責務と考えています。また、その一方で、地域における問題と打開策を模索・検証し、その声を直接日本理学療法士協会に届け、地方の声を中央行政への働きかけの力とし、積極的な支援体制がいただけるような活動体制を構築していきたいと考えています。



氏名 河添 竜志郎

都道府県士会 熊本県

年齢 55

勤務先名称 ㈱くますま

### 協会・士会役員歴

1985年～1999年 兵庫県、福岡県、熊本県において部長、部員、委員等  
 2010年～2014年 生活環境支援系理学療法研究部会 部員  
 2013年～現在 認定試験委員会 委員  
 2014年～現在 日本地域理学療法学会、日本支援工理学療法学会 運営幹事  
 2016年～現在 日本理学療法士協会 代議員

### 立候補の趣旨

現在、熊本において訪問看護、訪問リハ、通所、居宅、福祉用具のレンタル販売、住宅改修といった在宅サービスを運営するとともに、東京で急性期から回復期、施設、在宅を抱えた医療法人で臨床指導から全体を統括する役割を持っています。同時に、福祉用具のメーカーおよび住宅設備メーカーで顧問として製品開発や営業支援に取り組んでいます。

立場上、様々な職種や地域の方々との接点がありますが、理学療法士への期待は高いものの現在の卒後教育体制では期待に質が伴わない現状を痛感します。諸先輩方が創世記から築き上げられた知識や技術を、より時代にあった形に変えて質の向上をはかることが急務だと考えます。そのことで、目の前の高齢化社会の中での期待を背負い、その後に生き残ることができる職種にしなければなりません。

昨年4月に熊本地震に遭い様々な支援活動をしてきました。兵庫県立総合リハビリテーションセンター在職中には阪神淡路大震災にも遭い、二度の大きな災害支援を体験しました。非常時に理学療法士に何ができるのか考えさせられる一年でした。今回、「動ける！役に立つ！理学療法士」づくりに働かせていただきたいと思い立候補しました。よろしくをお願いします。



氏名 北里 堅二

都道府県士会 熊本県

年齢 58

勤務先名称 菊南病院



氏名 松本 泉

都道府県士会 熊本県

年齢 48

勤務先名称 熊本駅前看護リハビリテーション学院

### 協会・士会役員歴

昭和61年度～昭和63年度 県士会学術部員  
昭和63年度～平成1年度 熊本県士会理事（1期）  
平成2年度～平成6年度 県士会学術部員  
平成7年度～11年度 県協会理事（2期）  
平成13年度～ 県協会事業審議委員会部員  
平成15年度～20年度 県協会副会長  
平成21年度～ 県協会会長  
平成19年度～ 日本理学療法士協会代議員

### 立候補の趣旨

私は平成19年度から日本理学療法士協会の熊本県代議員を、平成21年度から熊本県理学療法士協会の会長を務めてまいりました。昨今の協会活動を見ておりますと、日本理学療法士協会と各都道府県士会の連携は不可欠であり、両方の活動がある程度知っている自分ならお役にたてることがあるのではないかと思います、今回代議員に立候補する次第です。よろしく願いいたします。

### 協会・士会役員歴

・熊本県理学療法士協会 理事 2014年～現在  
・日本理学療法士協会分科学会運営幹事（教育学会）2013年～現在

### 立候補の趣旨

1年間に1万人以上の理学療法士が誕生している今、臨床・養成教育の現場から多くの課題が見受けられます。その課題に対して、日本理学療法士協会は様々な対策を考え実行されています。そして、認定・専門理学療法士取得のシステム構築によるキャリア教育の充実、また理学療法士の可能性を社会に発信し新たな職域の拡大を図っていく中、次世代へ向けた大きな変革の時期ではないかと感じています。私は、その変革の場に自身の意見はもとより、多くの理学療法士の意見を伝えていきたいと思い立候補いたします。



氏名 仙頭 城二

都道府県士会 熊本県

年齢 51

勤務先名称 谷田病院

### 協会・士会役員歴

平成26年～：熊本県理学療法士協会 政策企画室長  
平成28年～：日本理学療法士協会 代議員

### 立候補の趣旨

現在、熊本県理学療法士協会に於いて政策企画室室長を務めております仙頭と申します。

平成6年より所属する組織体制審議委員会（旧：法人事業審議委員会）での活動を通して、日本理学療法士協会及び熊本県理学療法士協会の様々な事業の状況を学ばせて頂いております。  
また、日々の協会活動の中で、県協会の各部局・委員会の皆様が、どれほど裏方で頑張っておられるか、そのご苦労も少なからず存じているつもりです。平成28年度より代議員を務めさせて頂きましたが、熊本県理学療法士協会の発展的活動と県下会員の皆様のため、微力ながら尽力させて頂きたく今回の代議員選挙に立候補させて頂きました。  
宜しくお願い致します。



氏名 大籠 安男

都道府県士会 熊本県

年齢 45

勤務先名称 有明成仁病院

### 協会・士会役員歴

平成9年～平成20年度 熊本県理学療法士協会法人事業審議委員会 委員  
平成18年度 熊本県理学療法士協会 第11回学会 事務局長  
平成21年～平成28年度 熊本県理学療法士協会法人事業審議委員会 委員長  
平成28年度～ 熊本県理学療法士協会 政策企画室 委員  
平成28年度～ 熊本県理学療法士協会 学会評議員会 委員  
平成29年度 第21回熊本県理学療法士学会 学会長（平成30年2月25日開催予定）

### 立候補の趣旨

私は、一般病院で小児から高齢者、病期的には回復期から生活期、さらに介護予防まで幅広く携わる職場のリハビリテーション部責任者として勤務しております。各領域・分野における課題は山積しておりますが、特に地域リハビリテーションに携わる中で理学療法士が介護予防へ参入する重要性および効果は肌で感じているところです。また在宅医療においても各地域で在宅医療連携体制の構築が急速に且つ着実に進んでいる中、今後は医療と介護さらには障害福祉も含めた本当の意味での地域包括ケアの構築に向けた取り組みが必要であり、そのためには様々な「壁」を越えた活動が必要になると考えております。本会の地域包括ケアシステムへのさらなる参入を推し進めるにあたり、それぞれの地域（現場）での活動が要となる中、まだまだ多くの課題が存在するのも事実です。これら現場の声、課題をしっかりと日本理学療法士協会の“判断”の場に反映させることに努めてまいりたいと考えております。  
また、私は平成9年より熊本県理学療法士協会法人事業審議委員会委員として県協会運営に携わらせていただいております。熊本県理学療法士協会長の諮問機関として機能すべく本会の動向や熊本県理学療法士協会の運営等について調査、報告する中で、本会の事業や運営の全体像を見てきました。今まで養ってきた知識等を踏まえ、各種課題解決のため、日本理学療法士協会と熊本県理学療法士協会とのさらなる協力・協働体制を構築できるように合わせて取り組んでまいりたいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します